

競技注意事項

1. 規則について本大会は、2022 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。
2. 当日、8時30分までに代表者が大会受付（正面玄関中）へ【大学大会参加同意書】を提出すること。
（集団で受付に来ないこと）
※選手、スタッフ・マネージャーの ID はこの際に大学大会参加同意書と引き換えで受け渡すものとする。
3. 競技場使用上の注意
 - 1) 施設利用の際には、役員の指示に従うこと。
 - 2) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
 - 3) 競技場内全ての電源の使用を禁止とする。
 - 4) フィールド競技種目の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行う。
 - 5) 芝生は、監督・コーチ以外、原則立ち入り禁止とする。
 - 6) 競技者のウォーミングアップで、本競技場は使用できない。雨天走路か補助競技場を使用すること。
※ただし当日、雨天走路では感染症防止の観点から使用人数40人までで制限をかける、もしくは使用を禁止する可能性もある。
4. 競技者の招集について
 - 1) 競技者招集所は100mスタート地点付近に設置する。（雨天時も同様）
 - 2) 各種目の招集時刻は競技日程記載の通りとし、招集時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。
 - 3) 選手は第1次招集を行い、その後最終招集の時間までに、実施種目現地に集合すること。
但し、棒高跳は現地で招集を行う。リレー種目は100mスタート地点付近にて4人で招集を受けること。
 - 4) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んではならない。
 - 5) 代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
 - 6) リレーのオーダー用紙は（招集所で配付）所定の用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
 - 7) 招集時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意をすること。
5. ナンバーカードについて
 - 1) ナンバーカードは正規のものを1人2枚、人数分各大学で準備し、そのままの大きさを胸と背に確実につけること。（但し、跳躍種目は片側だけでよい）
 - 2) すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。
 - 3) トラック種目出場者は、競技者係（招集所）が配布する写真判定用腰ナンバー標識（競技終了の度に回収）を右側やや後方に確実につけること。（リレーの場合はアンカーのみ使用）
 - 4) 5000m、10000m、5000mW、10000mW 出場者には、該当種目実施日に招集所にてレース用特別ナンバーカードを配付する。また、確認のため事前に割り振った各大学のナンバーカードを必ず持参すること。

5) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

| | ナンバーカード | ゼッケンカラー |
|------------|---|---------|
| 男子 対校 | 東海大学 100～180 順天堂大学 200～280 日本体育大学 300～380 国士舘大学 400～480 | 黄地×黒字 |
| 女子 対校 | 日本女子体育大学 100～180 日本体育大学 200～280 国士舘大学 300～380 順天堂大学 400～480 | ピンク地×黒字 |
| 男子 オープン | 東海大学 100～199 順天堂大学 200～299 日本体育大学 300～399 国士舘大学 400～499 予備番号 500～550 6～99 | 白地×黒字 |
| 女子 オープン | 日本女子体育大学 100～199 日本体育大学 200～299 国士舘大学 300～399 順天堂大学 400～499 東海大学 75～99 予備番号 501～550 1～75 | 白地×赤字 |

※オープン選手がリレーなどの対校種目に出場する場合、オープン種目で使用したナンバーカードの使用を認めるものとする。また、対校選手がオープン種目に出場する場合も対校種目で使用したナンバーカードの使用を認める。

6. 競技について

1) トラック競技について

①計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。

②5000m以上の種目では、バックストレートに給水所を設置し、水を用意する。給水後のコップについては他の出場者の妨害となるような捨て方は厳禁とする。

2) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は次の通りとする。

| | | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 以降 |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|--------|
| 走高跳 | 男子 | 1.85 | 1.90 | 1.95 | 2.00 | 2.05 | 2.08 | + 3 cm |
| | 女子 | 1.45 | 1.50 | 1.55 | 1.60 | 1.63 | 1.66 | |
| 棒高跳 | 男子 | 4.20 | 4.40 | 4.60 | 4.70 | 4.80 | 4.90 | +10cm |
| | 女子 | 2.20 | 2.40 | 2.60 | 2.80 | 3.00 | 3.10 | |

※ジャンプオフ（第1位決定試技）の際のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

3) 競歩種目について競技運営上、男子 10000mW、女子 5000mW において以下のタイムで残り1周に達しない者は失格とし、競技を打ち切る場合もある。

男子 10000mW 50 分 00 秒 女子 5000mW 30 分 00 秒

4) 以下の種目に関しては対校とオープン同時スタートとする。

男子 1500m、5000m、10000m、3000mSC、10000mW、4×100mR、4×400mR 女子 1500m、5000m、5000mW、4×100mR、4×400mR

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具は、主催者で用意したもの及び各自で用意したものを使用することができる。但し、棒高跳用ポールは各自で用意する。
- 2) 投てき器具に関して、持ち込みを希望する場合は、8:00から10:00までに、100m スタート側 A 器具庫わきにて、公式計測員の検査を受け使用することができる。また、破損等については、持ち込み者個人の責任とする。

8. オープン種目について

フィールド競技におけるオープン種目の試技は3回までとする。

9. 対校得点及び順位について

- 1) 得点は、1位8点、2位7点、3位6点、以下5, 4, 3, 2, 1点とする。
ただし、リレー種目は、1位8点、2位6点、3位4点、4位2点とする。
- 2) 対校選手が失格または記録なしの場合、得点は換算されない。
- 3) 最多得点校が同点の場合は優勝種目数の多い順で決定する。
(優勝種目数が同じであれば2位入賞種目の多い順。以下同様)

10. 表彰について

- 1) 男子、女子最多得点校に対し、優勝杯、賞状を授与する。
- 2) 男子、女子から最優秀選手各1名を選出し、最優秀選手賞として記念品、賞状を贈呈する。
- 3) 男子、女子から最優秀新人選手各1名を選出し、最優秀新人賞として記念品、賞状を贈呈する。

11. その他

- 1) トラック種目における不正スタートは1回で失格とする。
- 2) 競技運営上、多少の競技日程の変更をする場合もある。
- 3) 競技エリア内での競技者への付添は一切認めない。
- 4) 盗難・紛失について主催者側で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。(遺失物等は大会総務室で管理する)
- 5) 応急処置について
競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、その後の治療費等は本人負担とする(競技者保険の適用)。また、事故の結果について、主催者側は一切責任を負わないものとする。
- 6) 応援について
集団での応援は一切禁止とする。また、個人であっても声を出しての応援などは自粛すること。
横断幕は、主催者が定めた各大学指定場所のみ掲出(各大学1枚)を許可する。
正面スタンドでの大学を明示するもの(部旗、横断幕、幟等)の使用は一切禁止とする。
- 7) 式典について

今回の開・閉会式は、感染症対策の一環として簡略化して行う。

開・閉会式に参加する各大学のスタッフ一名と昨年度優勝校からトロフィー返還のための選手一名は下記の通り集合し、式典担当者の指示に従うこと。式典の詳細については後日各校に連絡する。

開会式 8:50集合 ホームスタンド側競技場内の正面玄関前または正面玄関前
(各校スタッフ一名と昨年度優勝校からトロフィー返還のための選手一名)

閉会式 17:10集合 ホームスタンド側競技場内の正面玄関前または正面玄関前
(各校スタッフ一名と、男女優勝校から選手一名)

- 8) その他、不明な点は大会総務に問い合わせること。